



ISSB Update は、国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）の予備的決定を示している。これらの決定の影響を受けるプロジェクトは、[作業計画](#)で見ることができる。

IFRS®サステナビリティ開示基準に関する ISSB の最終的な決定は、IFRS 財団の「[デュー・プロセス・ハンドブック](#)」に示されているとおり正式に書面投票が行われる。

ISSB は、[2024年2月21日](#)にニューヨークにて会議を行った。

関連情報：

- ・ 原文は[こちら](#)
- ・ ISSB ボード会議の要約のオーディオ（ポッドキャスト）は[こちら](#)

目次

戦略及びガバナンス

- ・ [アジェンダの優先度に関する ISSB の協議（アジェンダ・ペーパー2）](#)

基準の適用（applying）

- ・ [IFRS S1 号及び IFRS S2 号の導入（implementation）支援（アジェンダ・ペーパー9）](#)

戦略及びガバナンス

アジェンダの優先度に関する ISSB の協議（アジェンダ・ペーパー2）

ISSB は、2024年2月21日に会議を行い、ISSB の作業計画に追加する可能性がある新たなリサーチ及び基準設定のプロジェクトを優先順位付けするための規準を最終化した。

ISSB は、次のことを暫定的に決定した。

- 情報要請「アジェンダの優先度に関する協議」において提案されている7つの規準のうち6つについては、実質的な変更を行わない。
- ISSB が他の関連する基準設定主体の作業を考慮する予定であることを明示的なものとするために、潜在的なプロジェクトが作業計画における他のプロジェクトとどのように関連することになるかについての規準を変更する。

出席した13名のISSBメンバーのうち8名が、この決定に同意した。1名のメンバーは欠席した。

次のステップ

ISSB は、ISSB の活動の戦略的方向性及びバランスを決定し、どの新たなプロジェクトを作業計画に含めるかを決定する予定である。

基準の適用（applying）

IFRS S1 号及び IFRS S2 号の導入（implementation）支援（アジェンダ・ペーパー9）

ISSB は、2024年2月21日に会議を行い、IFRS サステナビリティ開示基準の文脈における「重要性（materiality）」の概念に関する教育的資料の開発について議論した。

ISSB は何も決定を求められなかった。

次のステップ

ISSB は、教育的資料を開発するように、ISSB スタッフに指示を行った。